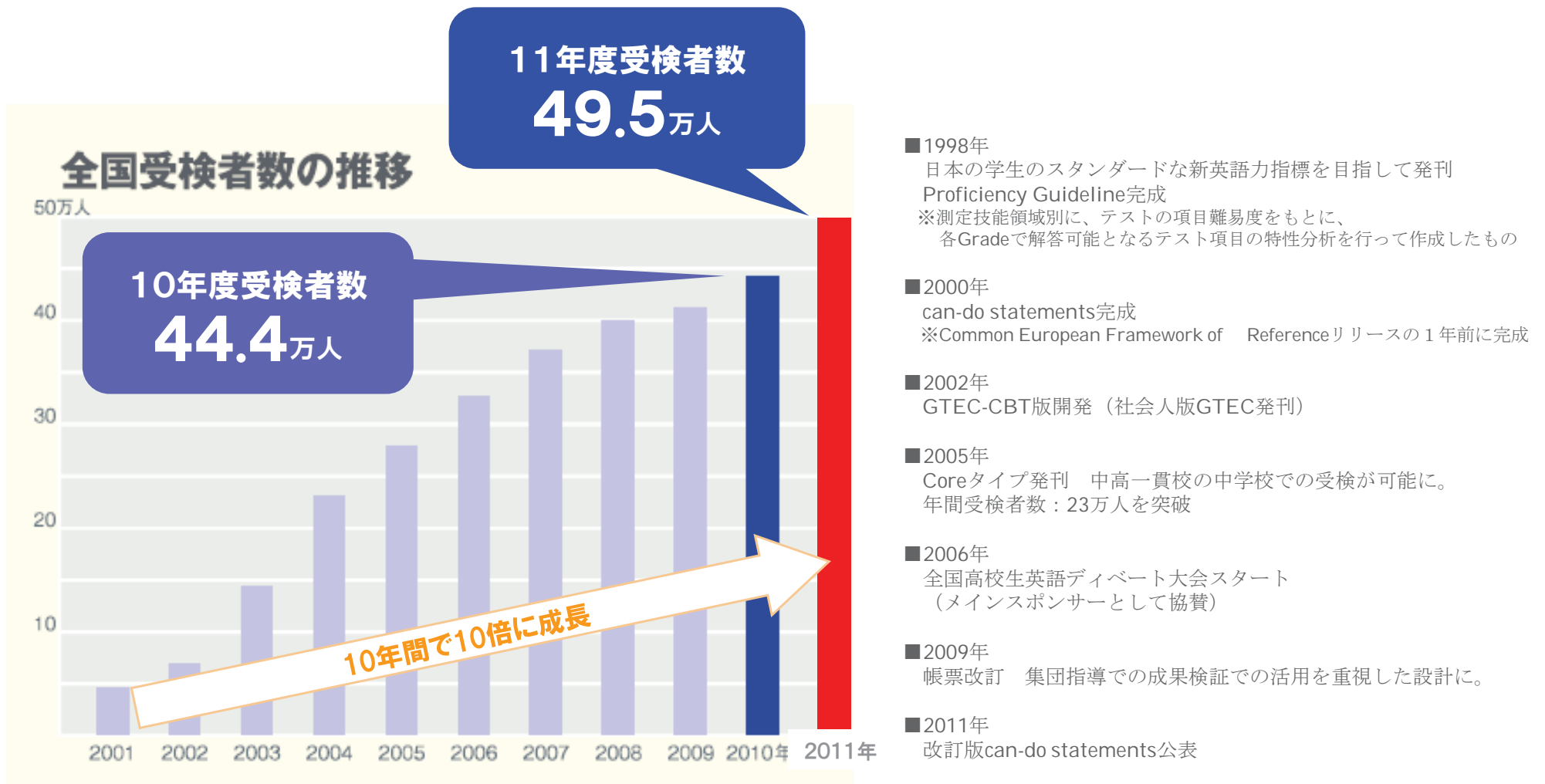




GTEC for STUDENTS can-do statements

2012年8月28日(火)

株式会社ベネッセコーポレーション
高校事業部



中高生対象のスコア型検定試験で、最も多い受検者数

学習者の「できること」を記述したもの

GTEC for STUDENTS では、

- ・日本の英語教育において10年以上前にcan-do statementsを開発
- ・2009年度よりGrade 7を追加
- ・2011年度の「推奨スコアガイドライン」作成に伴い改訂

GTEC for STUDENTS can-do statementの例

Listening Grade3

英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどにかなり配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる。

1

GTEC for STUDENTSの旧can-do statementsをベースに、新課程で要求されていることを、学習指導要領などから具体的な言葉で箇条書きに挙げていった。*

2

1. で挙げた項目をGTEC for STUDENTSグレードと照合してcan-do statementsの仮案を作成し、アンケート調査により検証を行った。

3

検証後のcan-do statementsを見ながら、GTEC for STUDENTSの各グレードを表現する言葉を作成し、「推奨スコアガイドライン」として示した。

2013年度施行 高等学校学習指導要領 P.87 第8節外国語 第2款 各科目
第2 コミュニケーション英語 I 2内容より

例1

- ◆説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。

⇒ GTEC for STUDENTS READING Grade 4 のcan-do statement

外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を、内容の重要な点を理解しながら、そのつながりを理解できる。

例2

- ◆聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

⇒ GTEC for STUDENTS WRITING Grade 3 のcan-do statement

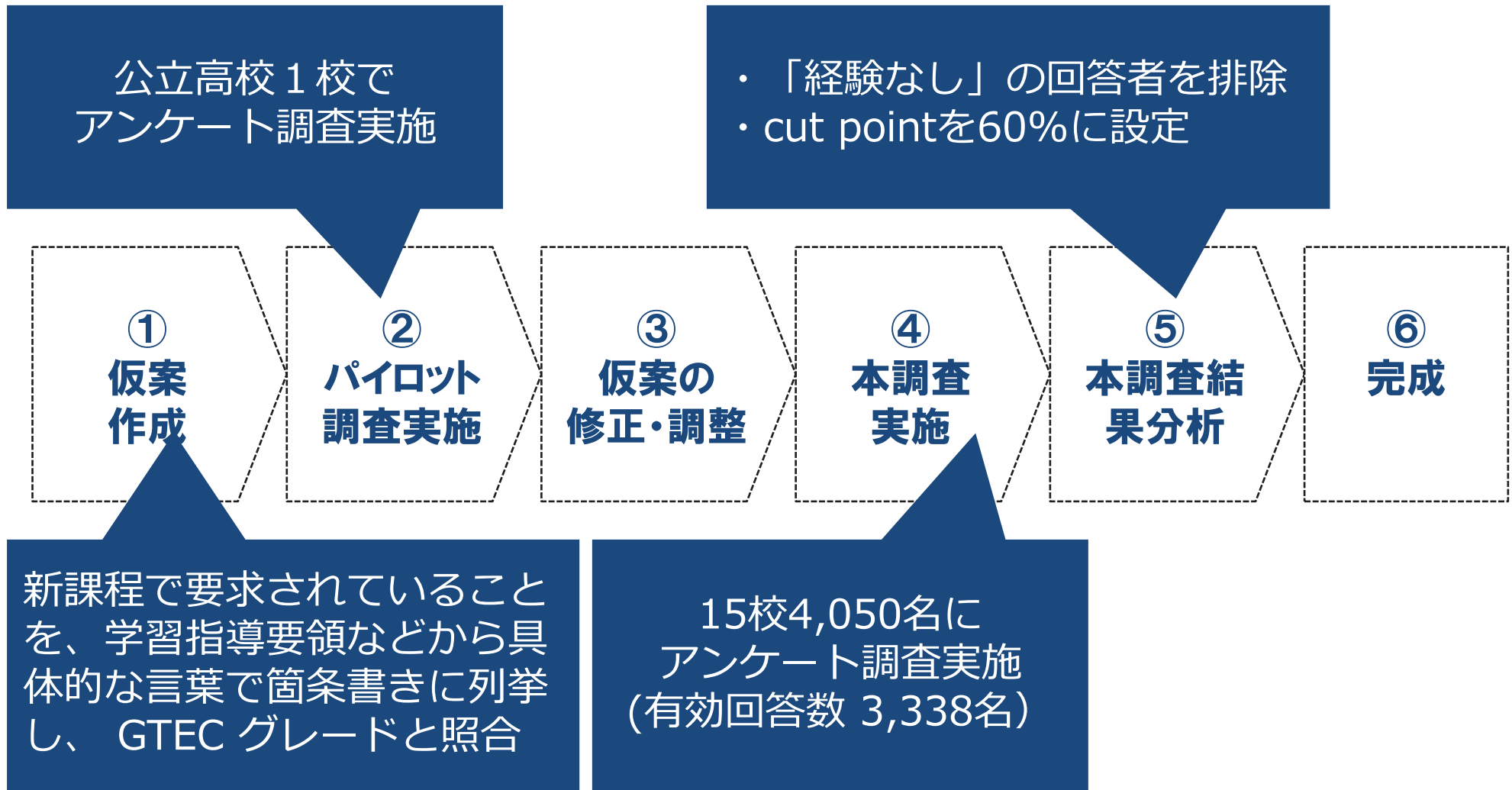
自分の意見や感想、または出来事の描写を5～6文程度の英語で書くことができる。

Grade	READING		LISTENING		WRITING		SPEAKING	
	スコア	can-do	スコア	can-do	スコア	can-do	TOTAL スコア	can-do
Grade 5	190~	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。 ■語句に日本語の注釈がついた英語学習者向けの英字新聞(週刊STやAsahi Weeklyなど)で、興味のある記事は、辞書を使いながら読めば大体は理解できる。 	200~	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書のリスニング活動に出てくる、10文程度の長さのわかりやすい展開の話や会話を聞いて、大筋なら内容を理解できる。 ■英語のネイティブ・スピーカーがはっきりとした発音で話をすれば、おおよその内容を理解できる。 	130~	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の意見や感想を論理的に整理し、段落構成を意識して書くことができる。 ■自分の興味のある話題やものに対して、意見や感想を発信することができる。 	520~	<ul style="list-style-type: none"> ●なじみのある話題について、英語で議論することができる。 ●英語のネイティブ・スピーカーの先生と、自分が知っている映画や本のあらすじ、出来事などについて、英語でやりとりができる。 ■国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題に関するスピーチを英語ですることができる。 ■日本の国内ニュースで取り上げられる社会問題などに関するスピーチを英語ですることができる。
		●: 「教室内」can-do (SPEAKINGでは「Interaction」)		■: 「教室外」can-do (SPEAKINGでは「Production」)				(2011年度改訂版)

- ① GTEC for STUDENTSのグレードと関連付いている。
- ② 実際の言語使用経験に基づく自己評価のみを依拠すべきデータとしている。(「経験がない」回答を除外)
- ③ 「教室内」can-doと「教室外」can-doという2つを設定した。

6 GTEC for STUDENTS can-do statementsの作成プロセス①

GTEC for STUDENTS can-do statements（2011年度改訂版）は下記①～⑥の流れで作成を行った。

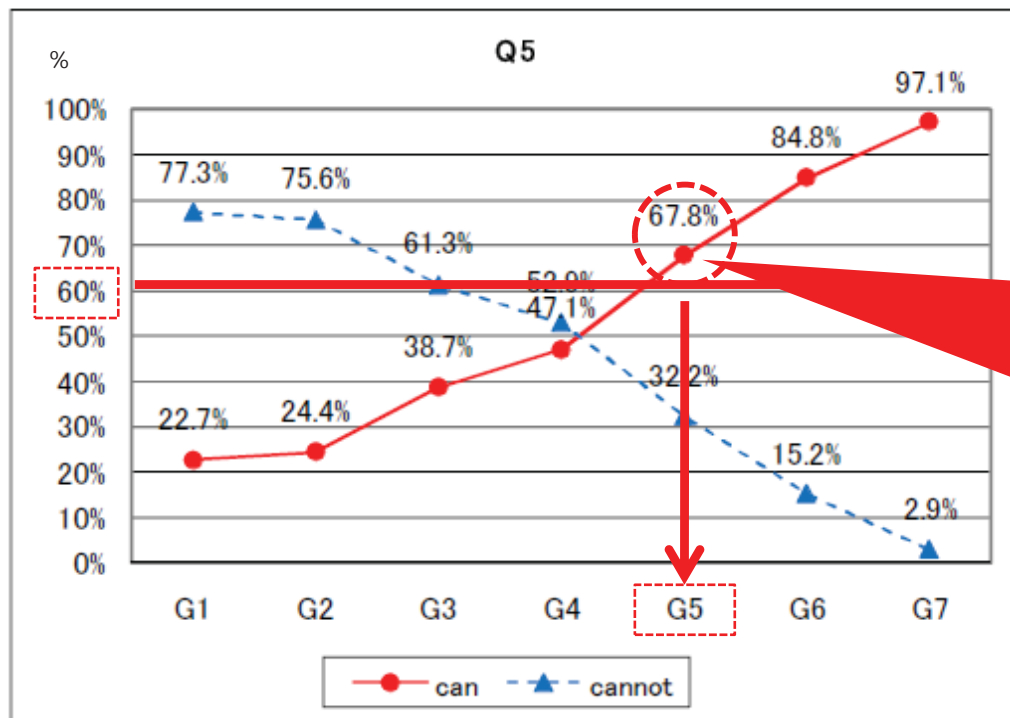


7 GTEC for STUDENTS can-do statementsの作成プロセス②

Q5 英語 I（もしくはⅡ）の教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる

- 1 経験したことがある、できる。
- 2 経験したことはあるが、できない。
- 3 経験したことがない。

集計から除外



Grade 5で「60%」
を超えている

⇒ Grade 5の
can-do項目に認定

① 生徒ごとの具体的な「発達段階」がわかる。

② 教師が授業内容を検討する上で参考となる。

③ 教室外活動を積極的に試みるよう、
生徒に奨励する際の参考となる。

推奨スコアガイドラインを参考に

- ◆ 具体的にどのような指導が可能か検討
- ◆ 学校・英語科として高校卒業段階および各学年終了時の目標を設定

到達目標
の設定

高校卒業段階につ
けさせたい力・各
学年終了時につけ
させたい力の目標
設定

到達状況
の把握・検証

学年・技能ごとに
到達状況を把握・
検証し、次の指導
へと活かす

具体的な
指導案検討

到達目標の文言
から、具体的な
指導案の検討

国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策 ～全国の高等学校における「Can-Do形式の目標設定」との関連～

提言1. 生徒に求められる英語力について、その達成状況を把握・検証する。

- 国は、諸外国の取組も参考にしながら、国として学習到達目標を「CAN-DOリスト」の形で設定することに向けて検討を行う。
- 中・高等学校は、学習到達目標を「CAN-DOリスト」の形で設定・公表するとともに、その達成状況を把握する。国や教育委員会は、各学校が学習到達目標を設定・活用する際に参考となる情報を提供するなど、必要な支援を行う。

◆ 今後は拠点校をはじめとして学校ごとに到達目標を設定し、それに基づく指導改善が求められる。

- ① **到達目標や学年・技能ごとの目標設定のため参照する**
- ② **生徒評価を通じた、指導の検証・改善のため参照する**

GRADE 7 TOTALスコア 710~810	Advanced-Plus Learner 大学での専門教育を英語で 学べるレベル
GRADE 6 TOTALスコア 610~709	Advanced Learner 海外進学を視野に入れることが できるレベル
GRADE 5 TOTALスコア 520~609	High Level 高校英語上級レベル 高校卒業時の 推奨グレード 海外の高校の授業に参加できるレベル
GRADE 4 TOTALスコア 440~519	Intermediate Level 高校英語中級レベル 海外ホームステイや語学研修で 楽しめるレベル
GRADE 3 TOTALスコア 390~439	Primary Level 高校英語初級レベル ALTと日常的な会話をし、 英語体験を楽しめるレベル
GRADE 2 TOTALスコア 300~379	Introductory Level 定型的なやりとりであればできるレベル
GRADE 1 TOTALスコア ~299	Preparatory Level 挨拶程度の簡単なコミュニケーションが できるレベル

高3平均 463

高2平均 445

高1平均 408

各技能 スコアの上限	Reading:320 Listening:320 Writing :170
トータルスコア 上限	810
グレード	G1~G7
試験時間	90分 (Advance/Basic)
Reading (問題数・時間)	45分 (Advance/Basic)
Listening (問題数・時間)	25分 (Advance/Basic)
Writing (問題数・時間)	20分 (全タイプ)